

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年6月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4671200378号
法人名	有限会社 グッドライフ
事業所名	グループホーム てんとうむし
所在地	鹿児島県 霧島市 国分 上井903-2
	(電話)0995-47-4672
自己評価作成日	平成23年4月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年5月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営者の出身地ということもあり普段から地域とのつながりが密である。緊急時には近所の方が優先して自動通報先になっていただいたり、火災発生時は地域の方へ知らせる非常ベルを設置したりして応援を求められるようにしてあり、利用者が安心して生活できるように配慮している。又、日常においても農作物や新聞紙、いらなくなったタオル等持ってきて下さったり、反対にホームから農作物をおすそわけしたりしている。地域の行事への参加も夏祭り、運動会、花見と参加させていただいており、散歩の途中で挨拶を交わすことは普通になっている。グループホームは特に夜間における緊急時の外部の方の援助が大切であることから特に地域との交流を大切にしているところである。利用者の日常の生活においては、利用者は毎日の生活に刺激を求めているのではなく、困ったとき、不安に思った時に寄り添ってくれる人がいて毎日を安心して生活したいと思っている人が殆どである。そのような利用者の思いを汲み取った援助ができるように心がけている。又、ホームは豊かな自然あふれる場所に立地しておりホームからは季節によっては風にそよぐ稲穂や川の上を泳ぐこいのぼり、ホームの敷地内にはさくらんぼ、いちじく、みかん、柿、レモン、他、果物が実り、バラや雪柳、こでまり、おおでまり、水仙、ホスタ等等季節の花々が咲き乱れ心癒される環境の中にあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは霧島市郊外にあり、昔ながらの田園風景と広々とした緑の芝生の整備された公園も近くあり、静かで、のどかな環境に立地している。建物の敷地内には季節の花々が咲きほころび、利用者や訪問者を和ませている。運営者、管理者、職員は地域、家族の協力をもらいながら、利用者が安心・安全で快適に生活できるよう日常的に努力している。職員会議ノート、各種のチェック表、個人情報ノートなど、詳細にファイルし、各利用者の心身状況を関係者全員で共有している。閲覧し、確認した事項は必ずサイン・捺印し、各自が責任感を持ってサービスの質の向上につなげている。職員会議やサービス担当者会議で出された意見は管理者が中心になり全職員で柔軟に対応している。今後も利用者や家族が安心して利用できるサービスの提供を期待できる事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所名の由来でもある利用者の思い、家族、スタッフ、地域で支えあっていく理念をホーム内に掲示して、スタッフはそれを意識して取り組んでいる	家族・職員・地域の方が協力し、利用者が安心して、その人らしく生活できるようにしたいという事業所独自の理念をつくりあげている。また、職員会議や面会時には理念の啓発を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり、中学生の職場体験学習を受け入れて交流を図っている。避難訓練では近くの住民にも参加してもらい実施している。	毎月、水路や神社内の清掃に参加し、地域との交流を実施している。緊急時には近隣の方々がすぐ駆けつけてくれる協力体制もできている。避難訓練にも参加してもらい常に地域との一体感を図っている。また、地域ボランティアや中学生の職場体験も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	老人クラブの会合に出席し事業内容の説明をしたり、個別に相談があった場合には相談に乗ったり場合によっては事業所を紹介したりして協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市職員、地域包括支援センター、公民館会長、民生委員、老人クラブ等の出席をお願いしホームの取組みや、近況を報告するとともに、アドバイスをいただいたりしている。	2ヵ月に1回、市職員、包括支援センター、公民館会長など地域関係者の出席をもらい開催し、ホームの取組み状況などの報告をしている。会議の内容はすべて家族や介護相談員にも文書で報告している。また利用者にも職員会議に参加してもらい、サービスの質の向上を図っている。	

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議への出席や介護相談員の受け入れや介護相談員との交流会の参加、日頃からの相談や確認事も直接市役所に出向きコミュニケーションをとるよう心けている。</p>	<p>日頃から、介護相談員と交流を図ったり、相談や助言をもらったりして、利用者へのサービスの向上に努めている。「霧島市地域密着型サービス事業フォーラム」にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>気候のいい時期は窓を全開にして外部の風を取り入れたりしている。寒い時期は防寒の意味で鍵をしていた場所もあったが、実地指導において指摘を受けそれ以降は施錠をしていない。今までも拘束での施錠は行ったことはない。</p>	<p>常時各部屋の出入り口に鍵かけはしておらず、玄関からの不意の外出にも見守りとして職員が一緒に着いて行き、拘束感を与えない取り組みをしている。外部研修参加や事業所内研修を行い繰り返し確認している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフは利用者個々の理解を深めるとともに職員会議等においてストレスをためないように話合ったりしている。研修についても案内があれば積極的に参加するようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修には積極的に参加し後日職員会議等で報告している。</p>		

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時における契約は見学や相談等で何回か話し合ったり、解約時においてはより一層のコミュニケーションを図り家族が納得できるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会のときアンケートを書いてももらったり、面会の時「何かないですか。」と声をかけたりして普段から気を付けている。玄関に意見箱を設置したりして意見が言える環境をつくっている。	花見など家族参加の行事や面会の時、家族の意見・要望を聴きやすい雰囲気をつくり、傾聴し、改善策が取れるように配慮している。家族会のアンケートも実施し運営に反映させる環境をつくっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の時にスタッフから何かないか一人ずつ聞いている。出された意見や要望は改善するものは改善しスタッフが気持ちよく働けるように心がけている。	毎月開催する職員会議や毎日のミーティングの時に意見・提案を把握し、代表者や管理者は職員と協働し改善につながるよう努めている。また外部研修参加や資格取得時は勤務体制を工夫し資質の向上を支援している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの希望に応じた勤務表を作成したり緊急の勤務交代においても臨機応変に対応している。		

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修内容に応じてスタッフを研修に行かせたり、希望を聞いたりとしている。又、資格取得時にはそちらを優先した勤務を組んだりして援助している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のホームのスタッフとの交流が図れるようにファミレス会議に参加したり同業者がお互いのホームを見学したり研修を受け入れる支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人や家族と会うことで顔を知っていただいたりいろいろな情報や思い希望を聞き好い関係がなるべく早く築けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にホームを見学していただいてこれまでの状況や困っている事、不安な事等を聞き対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の必要としている事を状況に応じて対応している。又、対応困難時においては他の空所状況を確認したりサービス事業所に連絡をとったりして支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として尊敬し苦しみや喜びを共に分かち合い、共に支えあう関係が築けるように努めている。		

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	連絡を密に取ったり運営推進会議の資料を渡したりし家族にもきちんと状況が把握できるようにしている。受診等も可能な限り家族にお願いし体調もわかるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出は一般的な常識の範囲内で自由にしていただき本人や家族が遠慮しないようにしている。	家族が自宅や墓参りに連れていったり、盆・正月は料理を持ち込んだりし日常的な家族のつながりを継続出来るよう配慮している。誕生会の折はその利用者の好物を提供し、家族、管理者、職員全員でもてなしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の雰囲気大切にしそっと見守ったり、場合によっては離したりしながら良い関係が保てるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されている場合は様子を見に行ったり、荷物を運んであげたり家族が出来ない事を援助している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の言葉や表情から思いや意向を汲み取りどうすることが最良なのかを話し合ったり家族に聞いたりしている。	利用者の思いや意向を把握するため、家族と話し合い、寄り添いながらのケアに努め、利用者の尊厳を大切にされた接し方を管理者・職員全員で心がけている。運営推進会議の情報を家族に伝え、ホームと利用者との繋がりをつくっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人や家族から話を聞いたり必要に応じて入居前のケアマネからも情報を得たりしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	大まかな一日の流れは決まっているものの特に強制することはない本人の思うままに過ごしていただいている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族のニーズにそった計画を作成し必要な情報は申し送りノートで共有している。又、毎月の職員会議においてサービス担当者会議で意見交換や介護計画の確認をしている。	職員は利用者の状況を申し送りノートで共有し、確認もスムーズに行われている。状況の変化がない場合でも3ヵ月に1回のモニタリングを行い、サービス担当者会議で意見を交換し、介護計画の質の向上に努めている。	

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況は個別のカルテに記入し全体の大まかな状況については業務日誌に記入し次の担当者に申し送っている。又、申し送りノートを活用し大切な事はスタッフ全員が目を通すようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一時的な状況についてはそのつどスタッフの意見を聞きながら臨機に対応している。又、長期に及ぶと思われる状況については職員会議やサービス担当者会議等で話し合い対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人にとって何が大切かを見極め手を出しすぎず、でも、目は離さずの精神で支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までの関係を大切にしながら定期的な往診や急変時の臨機の受診など行っている。往診時は必ずスタッフが立会い情報を提供するなどしてスムーズな診察ができるようにしている。	提携協力医療機関だけでなく、入居前のかかりつけ病院の受診を継続できるように支援している。往診時には必ず職員が立会い、必要な情報を提供し、スムーズな診察ができるように対応している。必要に応じ家族に報告している。	

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診時は必ずスタッフが立会い情報の提供をする他、家族対応の受診時においても必要な時はスタッフも同行したり本人の状況をきちんと書いたものを持たせたりしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に必要ならば家族の依頼を受けて書類を書いたり状況を説明したりしている。入院中も様子を見に行く等して的確な状況把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にホーム内で出来る事出来ない事をきちんと説明している。対応困難になりそうな状況のなってきたら早めに病院や他の施設への申し込みを依頼する。施設については一緒に見学や説明を受けきちんと引き受けてくれる所を探すようにしている。	入居時に重度化した場合の対応の範囲を家族に説明をしている。また、対応困難になる前に早めに他の施設の申し込みや見学を家族に勧めている。ターミナルケアについての明文化も検討中である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修は勿論、ホーム内においても研修を行うと共にマニュアルをいつでも見れる場所においている。		

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練の実施をしている。緊急時には地域に聞こえるように外部へ向けたベルを設置し実際に地域の方も参加していただいている避難訓練も実施している。</p>	<p>年2回の避難訓練を実施している。緊急時には近隣住民にも聞こえるようにベルを設置している。近隣の方にも実際に参加をもらい訓練を行っている。また、災害予想のハザードマップも作成している。保存食や米も準備してある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	例えばはオムツ交換の時や排泄解除の時はきちんとドアを閉める、失禁している人に対して叱らない等注意してケアしている。	利用者の個々の部屋は一人ひとりのプライバシーが確保されている。また、いろいろな場面においても利用者の尊厳を傷つけないよう和やかな声かけで個別性の特質を踏まえて対応している。新入職者には守秘義務の誓約書の提出を求めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	献立を決める時に利用者に聞いたり風呂に入りたいかどうかを聞いたり、何をして遊びたいかを聞いたりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	曜日ごとにレクリエーションを決めてはいるがその時々利用者の希望によって臨機応変に変更したりして強制しないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分でできる方は自分でしていただきそぐわない服を着ているときにはお手伝いをしている。意思表示できない方へは声掛けをしたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今まで散々してきたからしたくない。といわれる方も多い。中にはテーブルを拭いて下さったりされる方もあるのでその方に応じて一緒に行っている。	季節のものをふんだんに利用した家庭料理の献立を作っている。誕生会には好物を準備し、家族も一緒に楽しめるよう工夫をしている。春と秋の年2回の自家製手作り味噌をつくっている。栄養士の指導も定期的に受けている。	

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとり食に対する意欲が違うのでスタッフは量の把握をしている。極端に食べない時はカロリーを補う物を買って食べさせたりスポーツ飲料を飲ませる等して支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は歯磨きとうがいの実施をしている。必要に応じて歯科医の受診や往診を依頼したりしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意のない方でもトイレに座っていただいたりしている。夜間のみポータブルトイレを使い転倒のリスクを最小限に留めながら自由にトイレを使えるようにしている。	利用者の排泄管理シートを作成し、尿意のない利用者にも時間を見計らって声かけし、トイレに誘導し、自立できるよう工夫をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のチェックを行い冷たい牛乳を飲んでもらったりして、なるべく薬にたよらないで排便できるようにしている。		

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	大まかな時間は決めてあるがその中で順番等は希望を聞いている。湯につかるかどうかについても本人に確認しながら援助している。	基本的に一日おき、昼からの入浴時間としているが、状況に応じていつでも入浴できるように対応している。入浴シートを作成し、利用者と話し、確認しながら入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に何々しなければならない。という決まり事はない。自室で眠っている方も居られれば皆がいる所がいいと言われる方もあり自由にさせていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は個々のカルテに綴じてあり誰でも確認できる。往診時においても薬の副作用等の説明があり申し送りノートを活用して全員が理解できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	花見、夏祭り、運動会、外部の方によるレクリエーション、季節の行事に応じた食事等工夫をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム内だけの行事ではなく地域が行う行事に向いて地域の方とのふれあいを持ったりしている。去年はサーカスを見にも行き喜ばれました。	花見など事業所内だけの行事ではなく、地域の運動会、夏祭りに参加し、積極的に外出支援し、地域の方との触れ合いも図っている。家族の面会の折には墓参り、買い物など家族同行で外出している。また、声かけて近くを散歩したりしている。	

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームがお金を持つ事を禁止しているわけではないが、現在の利用者さんは所持していない。必要な時はホームで立替ている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>制限は特にしていない。毎週ハガキが届くところもあれば、月に数回電話がきてお話されるところもあります。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>気候のいいときは窓を開けて気持ちのいい風を取り込んだり季節の花を飾ったりしている。居室のドアにクリスマスや正月らしい飾りを飾ったりしている。ホームから見える風景は自然豊かでなごみの場所でもある。</p>	<p>季節の花で飾られた玄関はスロープで車イスにも対応している。自然光が、ほど良く射しこむリビングは開放感があり、利用者は豊かな自然風景を眺めたり、簡単な脳トレーニングやレクリエーションを楽しみながら穏やかな日常が過ごせている。利用者の折り紙や絵が廊下の壁に飾ってある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>コタツやソファ、マッサージ機等を置き自由に行き来していただいている。</p>		

鹿児島県 グループホームてんとうむし

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内は全て本人の持ち物である。荷物が多すぎるとつまずいたりする恐れがあるのである程度の量でお願いはしているが配置等は家族の希望である。</p>	<p>家族と相談し、今までの個々の生活が活かされるよう使い慣れた品物を、持ち込んでもらっている。また位牌などの持ちこみも自由で、必要なものはその都度家族が補充している。より清潔に過ごせるよう、当番制で定期的に居室の掃除を行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーやスロープ対応で一人で移動ができるようになっている。又、トイレの表示を行い場所がわかるようにしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームてんとうむし

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームてんとうむし

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない